

第3章 具体的な取り組み

「望ましい将来像」の実現のため、以下のような体系によって、具体的な取り組みをすすめていきます。本章では、基本方針1から基本方針5に関して、それぞれに長期目標を設け、その実現に向けて10年後の目標や目標を達成するために実施するプロジェクト、各主体別の具体的な取り組み内容などについて示しました。

【望ましい将来像】

清らかな千曲川のほとり、豊かな緑があふれ、
だれもが心の豊かさを感じられる、ふるさと千曲市

【基本方針】

【長期目標】

基本方針1
市民みんなが
主役のまち

- 1-1 環境活動が広がるしくみや場をつくります
- 1-2 環境情報を発信し、市民の関心を高めます
- 1-3 地域のコミュニティを大切にします

基本方針2
自然豊かな
ふるさと

- 2-1 泳ぎたい千曲川を復活します
- 2-2 生き物が豊かな小川や水辺を復活します
- 2-3 里山を守り、活かしていきます
- 2-4 多様な生物を守ります
- 2-5 環境に配慮した、やる気もてる農林業を推進します
- 2-6 市街地の緑を育てます

基本方針3
『もったいない』
を大切にす
くらし

- 3-1 使い捨てでない、地球にやさしい製品を選びます
- 3-2 『ずく』を出して、ごみを出しません
- 3-3 不法投棄、ポイ捨てをしません
- 3-4 水資源を大切にし、有効活用します

基本方針4
地球を大切に
する、安全で
安心なまち

- 4-1 地球や生活者にやさしい交通をすすめます
- 4-2 省エネルギー、新エネルギーをすすめます
- 4-3 環境に配慮した公共事業と事業活動を増やします
- 4-4 緑地や水路によって、災害に強いまちをつくります
- 4-5 公害の心配のないまちをつくります

基本方針5
豊かな心をはぐ
くむ環境学習

- 5-1 こどもたちの環境学習をすすめます
- 5-2 市民の環境学習をすすめます

【各長期目標におけるプロジェクト】

※太字は2～3年のうちに実施する、重点プロジェクト

①環境市民会議を設立す	②地域の環境活動を応援する助成制度をつくる
③環境について市長と語る会を各地域で開く	④環境市民大学の開設を検討する
①千曲市の環境白書を作成し、公表する	
②環境活動の事例などの情報をどしどし市民に伝える	
①『ゴミニケーション』を展開する	②地域のイベントや伝統行事を盛り上げる
③市内一斉で打ち水大作戦を行う	
①ヨシ原や河畔林を復活する	②適正な排水処理をすすめる
③みんなで千曲川をきれいにする	④千曲川に親しめる水辺やビオトープをつくる
①ホテルを復活させる	②トンボなどがすみやすい池をつくる
③一年中水の流れる用水・水路を復活させる	④透水性の高いまちづくりを行う
①歴史公園一帯に自然遊歩道を整備し、身近な自然に親しむ	②身近な里山に登山道を整備する
③残したい自然マップをつくる	④荒廃した里山の手入れをみんなですすめる
①千曲市版レッドデータブックを作成し、希少種を保全するしくみをつくる	
②既知の「優れた植物群落」「希少動植物」の保護をすすめる	
③ワシタカ類など希少鳥類のすみやすい環境づくりをする	
④外来動植物を駆除する	⑤巨樹・巨木を保護する
①重要文化的景観である姨捨棚田の保全	②食の安全・安心に配慮した農業をすすめる
③地産地消、旬産旬消をすすめる	④休耕田を有効活用する
⑤林業を活性化させる、さまざまな取り組みを応援する	
①計画に際して地元専門家に意見を聞く制度をつくる	
②市民と協働で、魅力ある街路樹や公園をつくる	
③動植物に配慮した緑のネットワーク化を図る	
①買い物にはマイバッグを使おう！	②食品トレーを減らそう！
③千曲市版環境に配慮した小売店を増やそう！	
①可燃ごみを削減する	②生ごみを資源化する
①不法投棄の監視を強化する	②ポイ捨てや憤慨(フン害)対策をすすめる
③環境に配慮したエコイベントを開催する	
①水資源を大切に節水をすすめる	②雨水や温泉のお湯を活用する
①歩行者と自転車にやさしい道をつくる	②自転車に乗ろう！
③ノーマイカー通勤、相乗り通勤をすすめる	④エコドライブを広める
①菜の花プロジェクトをすすめる	②省エネルギーへの取り組み登録制度をつくる
③自動販売機・24時間営業について話し合う	④星空の見えるまちをつくる
①環境配慮型公共事業を増やす	②市役所内の環境活動、環境学習をすすめる
③環境マネジメントシステムに取り組む事業者を増やす	
①防災緑地を災害に強い樹種で整備する	②防災水路を兼ねた水辺を整備する
③地域の自主防災組織づくりを推進する	
①公害を減らす	②苦情や相談の対応を充実する
③公害に関する情報を市民や事業者伝える	
①子どもたちの環境活動を応援する	②食育・菜園講座を開く
③学校・保育所のビオトープづくりや学校林づくりを支援する	
①市民環境センターを開設する	②「もったいない」講座を開く
③環境学習のサポーターを育て、派遣制度をつくる	④環境施設見学会を実施する